

前回（2025 年 10 月号）、本館所蔵洋書の代表的コレクションの 1 つとしてインキュナブラ（1500 年以前に金属活字で印刷された本）⁽¹⁾をあげた。零葉（一冊の本が切り離されて 1 枚（または数枚）になったもの）とはいえ、わが国にグーテンベルクの『42 行聖書』が最初に将来したのも本館である。今回は、本館がインキュナブラを所蔵してきた履歴を目録や図録でたどりつつ、2025 年末現在の所蔵状況を記す。⁽²⁾

本館所蔵のインキュナブラを目録で確認する最初のものは、1941 年刊行の『天理図書館稀書目録洋書之部』（以下、稀書目録と記す）であり、2 点のラテン語『聖書』インキュナブラの記載がある。それらは、キリスト教関係書を収集する過程で所蔵したのだろう。富永牧太 2 代館長によると、インキュナブラは意識的に収集したわけではなく、主として戦後、様々な機会に集ったという。⁽³⁾1952 年刊行の『稀書目録』（第 2 巻）にインキュナブラの記載は無い。1954 年に入職した元館員の話では、その当時は数点のインキュナブラしかなかったが、中山正善 2 代真柱の海外巡教によって将来したものが核となり、本館有数のコレクションの 1 つを形成することになったという。⁽⁴⁾事実、1951 年から 1963 年にかけて 7 回の海外巡教を行った 2 代真柱が収集した図書の目録にはインキュナブラが 10 点以上含まれている。⁽⁵⁾

インキュナブラの所蔵は 1955 年以後、着実に増加する。天理図書館編『善本写真集』第 5 巻（1955 年）に 8 点、『稀書目録』（第 3 巻）（1957 年）に 10 点、『善本写真集』第 18 巻（1962 年）に 16 点、『稀書目録』（第 4 巻）（1989 年）には 34 点の記載がある。⁽⁶⁾また、雪嶋宏一による 1995 年刊行の『本邦所在インキュナブラ目録』（Union catalogue of incunabula in Japanese libraries (IJL)、雄松堂出版、以下 IJL と記す）は 50 コピーを記載している。そして、前回述べたように、同じく雪嶋による『本邦所在インキュナブラ目録第 2 版』（Incunabula in Japanese libraries (IJL2)、2004 年、雄松堂出版、以下 IJL2 と記す）には 56 コピーの記載がある。

この数は、3 万件以上のインキュナブラの書誌情報とそれらの世界中の所蔵情報を載せた British Library のインキュナブラのデータベース Incunabula short title catalogue（以下、ISTC と記す）に掲載の点数と一致する。この点について少し述べる。わが国のインキュナブラの所蔵状況について ISTC の基礎になっているのは、雪嶋の調査である。IJL の序論によると、1952 年の関西大学図書館の天野敬太郎、1964 年から 66 年の本館の富永の調査に続き、第 3 回目のインキュナブラ全国所在調査を早稲田大学図書館（当時）の雪嶋

が 1988 年 11 月から 1994 年 7 月末まで行った。過去 2 回の調査がアンケート方式であったのに対して、雪嶋は、できる限り直接現物にあたって個々のコピーを書誌学的に詳細に調査するという原則にした。その調査データを ISTC に報告した後、ISTC からわが国で利用できる書誌データの提供を受け、その書誌に準拠して IJL が編纂された。IJL は、いわば ISTC との国際協力により完成したのであり、日本国内の図書館・研究所および個人等 44 カ所が所蔵する 297 版 348 コピーが世界に知られることとなった。さらに雪嶋は、1994 年 9 月から 2003 年 10 月 31 日にかけて再調査を行い、IJL（初版）に 86 版 118 コピーと 18 の所蔵機関を新たに加え、合計 62 カ所が所蔵の 383 版 466 コピーを掲載する IJL2 を刊行した。

IJL2 発行から 20 年以上が経った 2025 年現在、本館が実際に所蔵するインキュナブラは ISTC に掲載の点数よりも増加している。本稿では、それら ISTC にはまだ反映していない本館所蔵インキュナブラの簡略な書誌を掲載する。書誌の不十分な点や、もし誤謬があれば、今後の調査・研究によって完全な目録にできれば幸いである。

なお、本目録の作成には、本館洋書貴重書整理担当者に協力を得た。ここに記して謝意を表する。

【凡例】

- 掲載順序は著者名のアルファベット順とした。ただし、『聖書』（Bible）については、著者名 A の次に刊行年順に配列した。
- 書誌記述の各項目は、通し番号に続けて、次の順に記載した：著者名；タイトル（斜体）；印刷地：印刷者、印刷年月日、判型 Folio（二つ折り版）、Quarto（四つ折り版）；本文言語（Lang.）；本館請求記号（Call No.）；目録典拠（Ref.）
- 目録典拠には ISTC を使用し、著者名、タイトル等の表記はそれに準拠した。

1. Anselmus, S

Opera. Ed: Petrus Danhauser
Nuremberg : Caspar Hochfeder, 27 Mar. 1491. Folio
Lang: Latin
Call No.: I32// イ 16
Ref.: ISTC ia00759000

2. Aurbach, Johannes

Summa de sacramentis